

# XV 広報活動

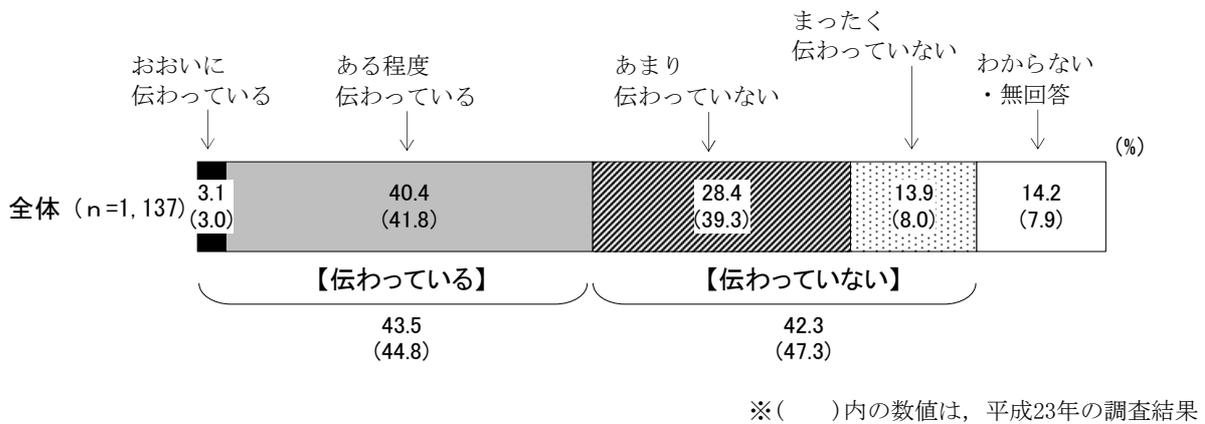
## 1. 県政情報

### (1) 県政情報の到達度

—【伝わっている】は4割台半ば，【伝わっていない】が4割を超えている—

問32 本県では県民の皆さんに、県の仕事内容，計画，行事などをさまざまな方法（※）によりお知らせしていますが、県政情報の到達度はいかがですか。次の中から1つだけ選んでください。

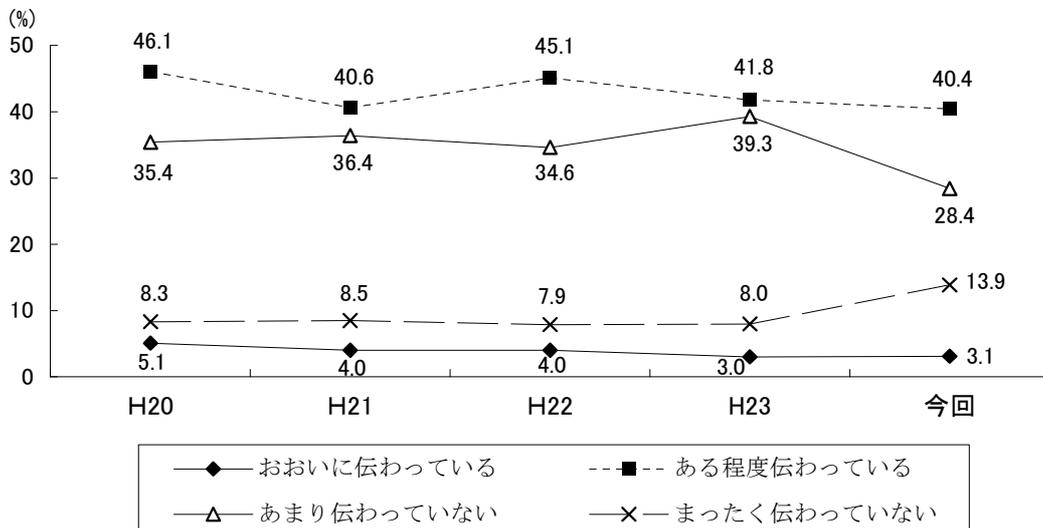
※ 県広報紙「ひばり」や新聞広告，テレビ広報やラジオ放送，県のホームページなどインターネットを活用した情報配信など



県政情報の到達度としては、「おおいに伝わっている」(3.1%)と「ある程度伝わっている」(40.4%)を合わせた【伝わっている】(43.5%)が4割台半ばとなっている。一方、「あまり伝わっていない」(28.4%)と「まったく伝わっていない」(13.9%)を合わせた【伝わっていない】(42.3%)が4割を超えている。

前回調査と比べると、【伝わっていない】が5ポイント減少している。

図 XV 32-1 県政情報の到達度（時系列）



#### —【伝わっている】は県北と県央で4割台半ば—

地域別でみると、【伝わっている】は、県北（45.4%）と県央（46.2%）で4割台半ばと高く、鹿行（36.5%）以外のすべての地域で4割台となっている。一方、【伝わっていない】は、鹿行（48.1%）で約5割となっている。

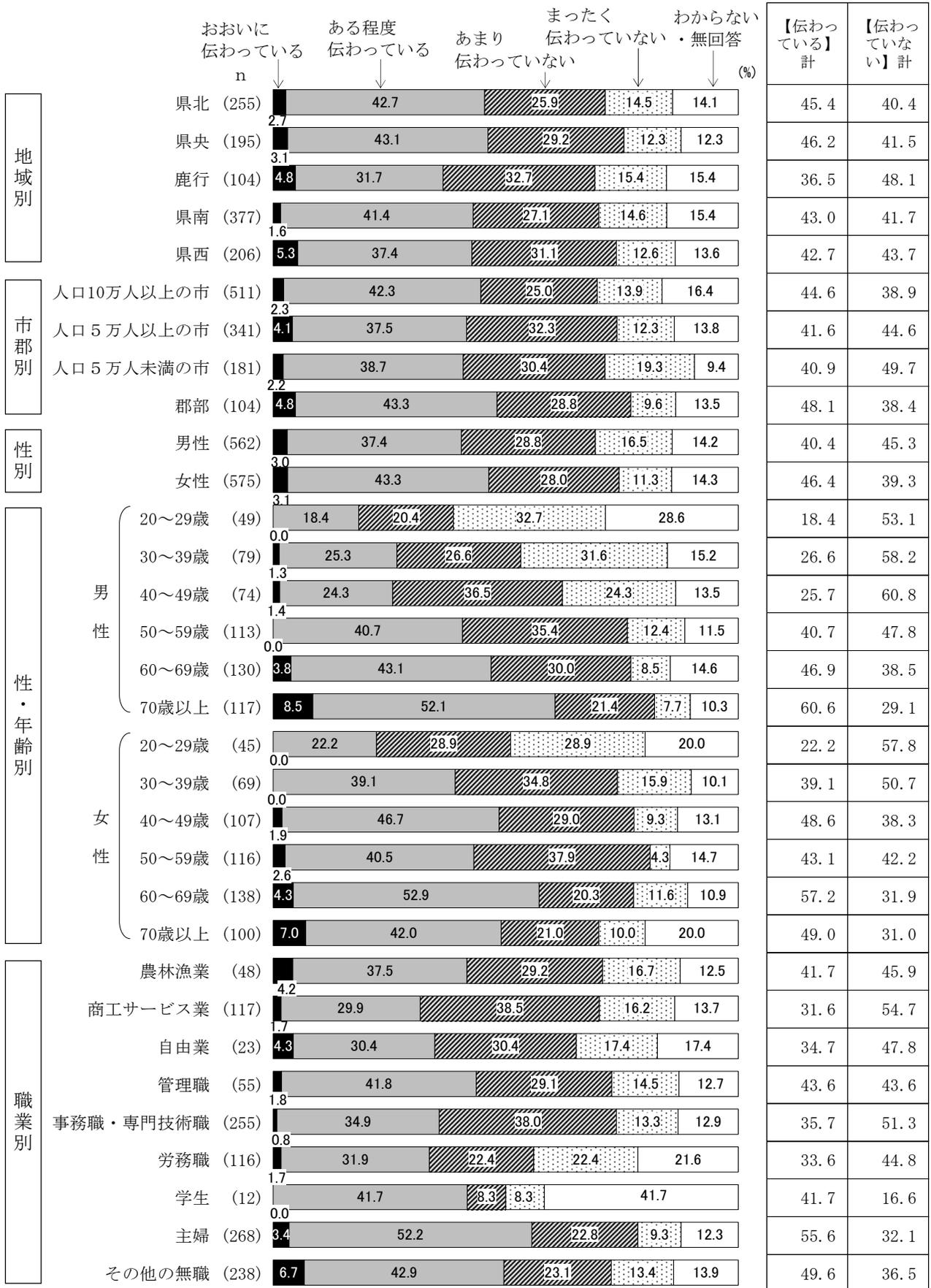
市郡別でみると、【伝わっている】は、郡部（48.1%）で約5割と最も高くなっている。一方、【伝わっていない】は、人口5万人未満の市（49.7%）で約5割となっている。

性別でみると、【伝わっている】は、女性（46.4%）が男性（40.4%）よりも6ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、【伝わっている】は、男性の70歳以上（60.6%）と女性の60代（57.2%）で約6割と高くなっている。一方、【伝わっていない】は、男性の30代（58.2%）と40代（60.8%）、女性の20代（57.8%）で約6割と高くなっている。

職業別でみると、【伝わっている】は、主婦（55.6%）で5割台半ばと最も高く、その他の無職（49.6%）で約5割となっている。一方、【伝わっていない】は、商工サービス業（54.7%）と5割台半ばで最も高く、事務職・専門技術職（51.3%）で5割を超えている。

図 XV 32-2 県政情報の到達度（地域別，市郡別，性別，性・年齢別，職業別）



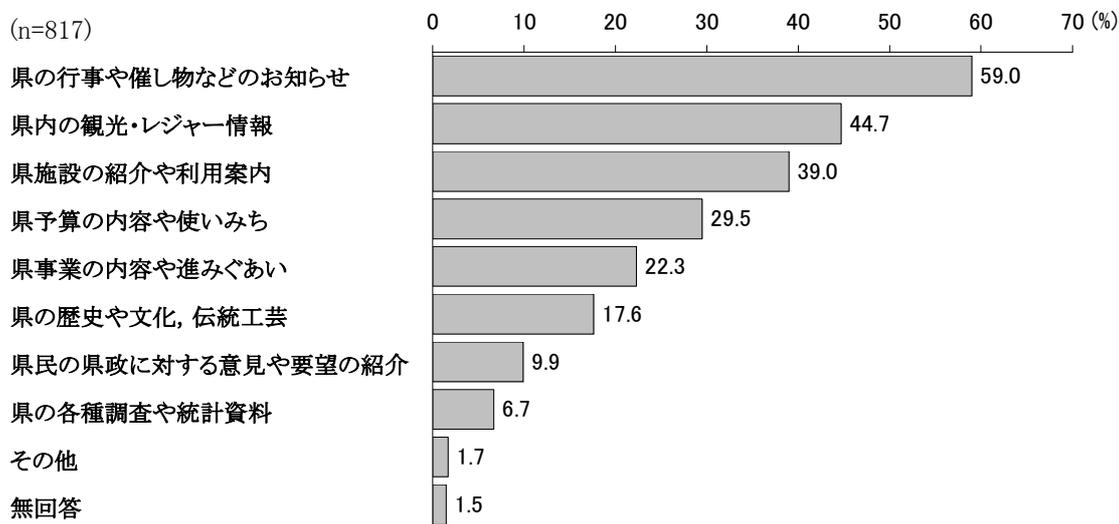
(注) 自由業及び学生は回答人数が少ないので分析ではふれていない。

## (2) 「伝わっている」と思われる情報

### — 「県の行事や催し物などのお知らせ」が約6割—

(問32で、「1」～「3」と回答した方のみ)

問32-1 県では、主に以下のような情報をお知らせしていますが、「伝わっている」と思われる情報はどの情報ですか。次の中から3つまで選んでください。



県政情報が【伝わっている】か「あまり伝わっていない」と回答した方に、「伝わっている」と思われる情報を聞いたところ、「県の行事や催し物などのお知らせ」(59.0%)が約6割で最も高く、次いで「県内の観光・レジャー情報」(44.7%)が4割台半ば、「県施設の紹介や利用案内」(39.0%)が約4割と続いている。

### — 「県の行事や催し物などのお知らせ」は女性の30代から50代で約7割—

地域別でみると、「県の行事や催し物などのお知らせ」は、鹿行(51.4%)以外のすべての地域で6割前後となっている。「県内の観光・レジャー情報」は、鹿行(48.6%)で約5割と最も高く、すべての地域で4割台となっている。また、「県施設の紹介や利用案内」は県北(43.4%)と県央(42.9%)で4割台、「県予算の内容や使いみち」は県央(34.7%)と鹿行(36.1%)で3割台半ばとなっている。

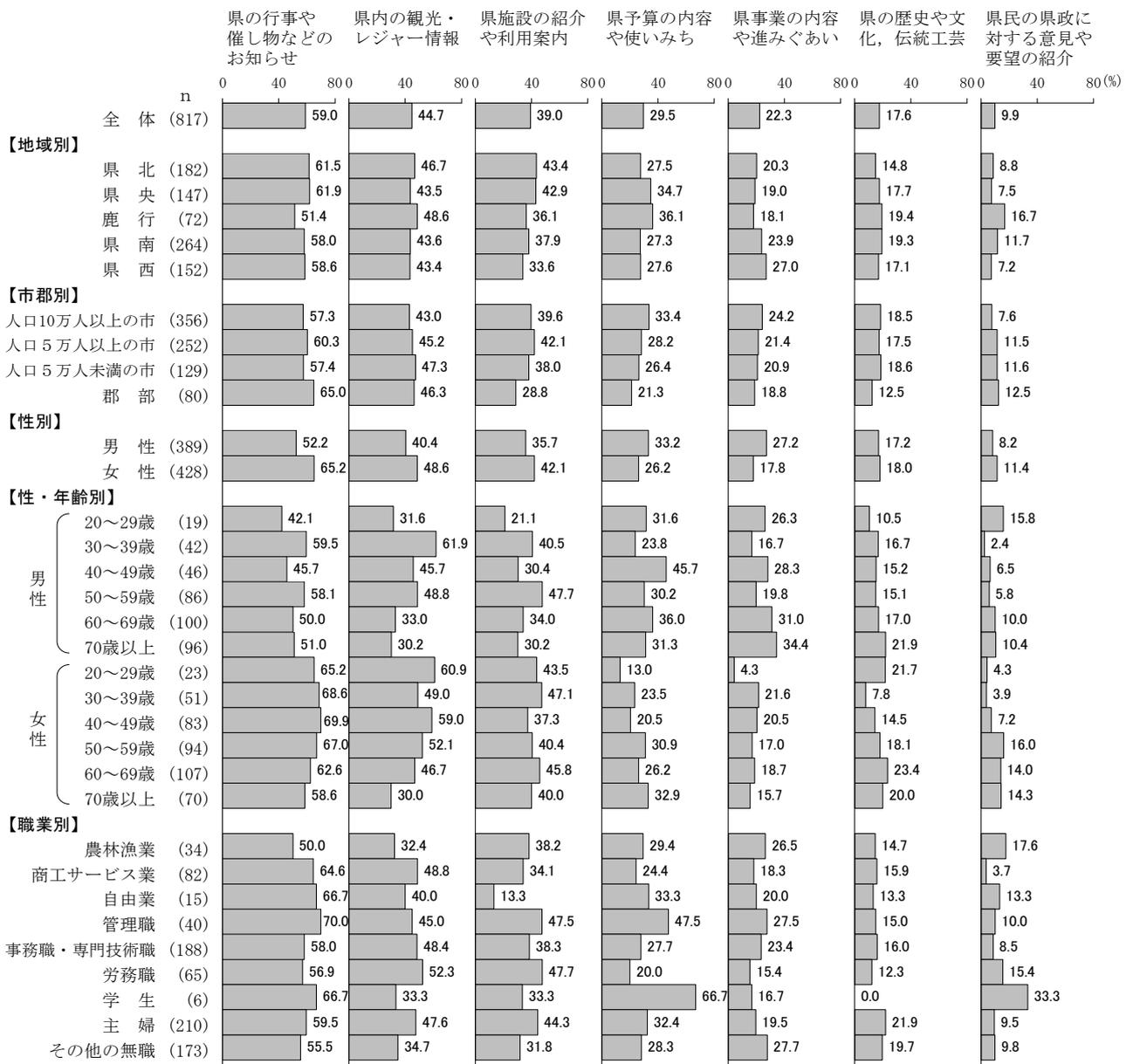
市郡別でみると、「県の行事や催し物などのお知らせ」は、郡部(65.0%)で6割台半ばと最も高くなっている。「県内の観光・レジャー情報」はすべての層で4割台、「県施設の紹介や利用案内」は郡部(28.8%)以外のすべての層で4割前後となっている。また、「県予算の内容や使いみち」と「県事業の内容や進みぐあい」は、人口が少なくなるほど低くなっている。

性別でみると、「県の行事や催し物などのお知らせ」は女性(65.2%)が男性(52.2%)よりも13ポイント、「県内の観光・レジャー情報」は女性(48.6%)が男性(40.4%)よりも約8ポイント高くなっている。また、「県施設の紹介や利用案内」は女性(42.1%)が男性(35.7%)よりも約6ポイント、「県民の県政に対する意見や要望の紹介」は女性(11.4%)が男性(8.2%)よりも約3ポイント高くなっている。一方、「県事業の内容や進みぐあい」は男性(27.2%)が女性(17.8%)よりも約9ポイント、「県予算の内容や使いみち」は男性(33.2%)が女性(26.2%)よりも7ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、「県の行事や催し物などのお知らせ」は、男性では30代（59.5%）と50代（58.1%）で約6割、女性では30代（68.6%）、40代（69.9%）、50代（67.0%）で約7割と高くなっている。「県内の観光・レジャー情報」は、男性の30代（61.9%）、女性の40代（59.0%）で6割前後となっている。また、「県施設の紹介や利用案内」は、男性の50代（47.7%）、女性の30代（47.1%）と60代（45.8%）で4割台後半と高くなっている。「県予算の内容や使いみち」は、男性の40代（45.7%）で4割台後半と最も高くなっている。

職業別でみると、「県の行事や催し物などのお知らせ」は、管理職（70.0%）で7割と最も高く、商工サービス業（64.6%）で6割台半ばとなっている。「県内の観光・レジャー情報」は、労務職（52.3%）で5割を超えて最も高くなっている。「県施設の紹介や利用案内」は管理職（47.5%）と労務職（47.7%）で約5割と高く、「県予算の内容や使いみち」でも管理職（47.5%）は約5割となっている。

図 XV 32-1-1 「伝わっている」と思われる情報  
(地域別, 市郡別, 性別, 性・年齢別, 職業別)

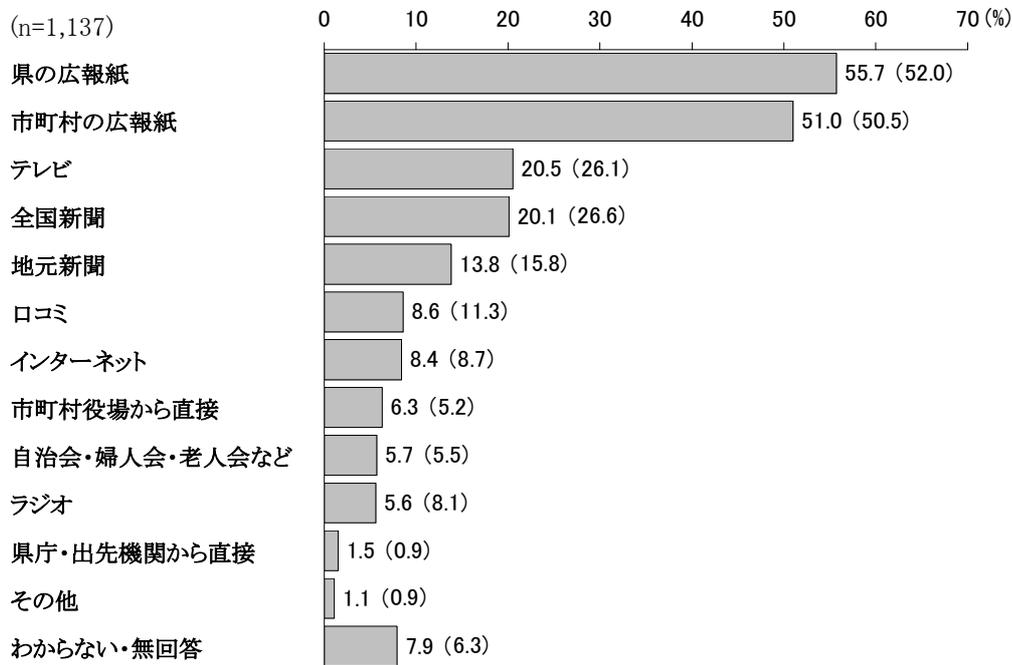


(注) 男性及び女性の20~29歳, 自由業, 学生は回答人数が少ないので分析ではふれていない。

## 2. 県政情報の主な入手先

—「県の広報紙」と「市町村の広報紙」が5割台—

問33 あなたは、県政情報を主にどこから入手していますか。次の中から主なものを3つまで選んでください。

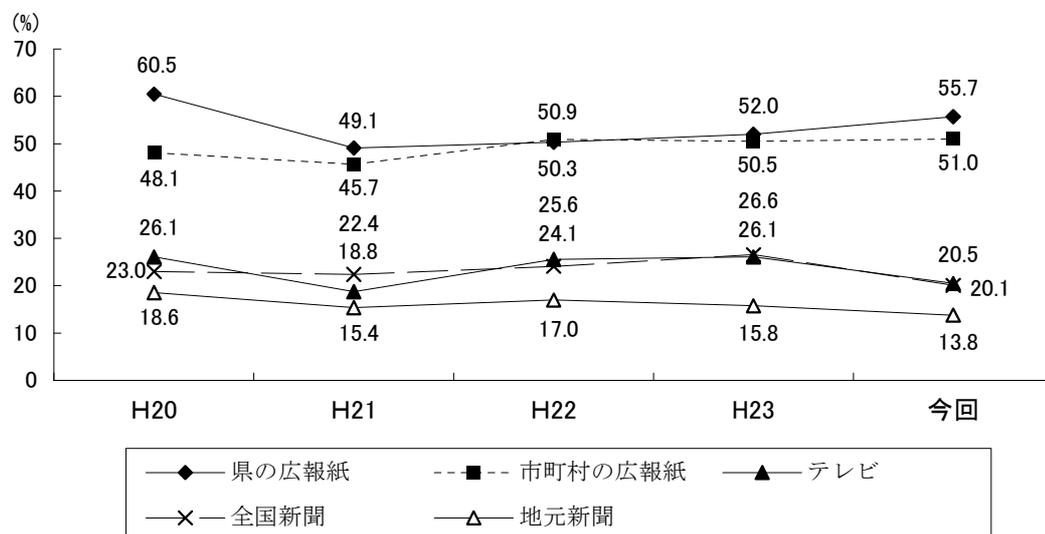


※( )内の数値は、平成23年の調査結果

県政情報の主な入手先としては、「県の広報紙」(55.7%)が5割台半ばで最も高く、次いで「市町村の広報紙」(51.0%)が5割を超え、「テレビ」(20.5%)、「全国新聞」(20.1%)が2割台で続いている。

前回調査と比べると、「県の広報紙」は約4ポイント増加している。一方、「全国新聞」は約7ポイント、「テレビ」は約6ポイント、「ロコミ」は約3ポイント減少している。

図 XV 33-1 県政情報の主な入手先（時系列）



### —「県の広報紙」は男性の60代から70歳以上、女性の60代で6割台後半—

地域別でみると、「県の広報紙」は、県南（58.4%）で約6割と最も高く、すべての地域で5割台となっている。「市町村の広報紙」は、県央（58.5%）で約6割と最も高く、県北（53.3%）と県西（52.9%）で5割台となっている。また、「全国新聞」は、県南（30.2%）で約3割と最も高くなっている。

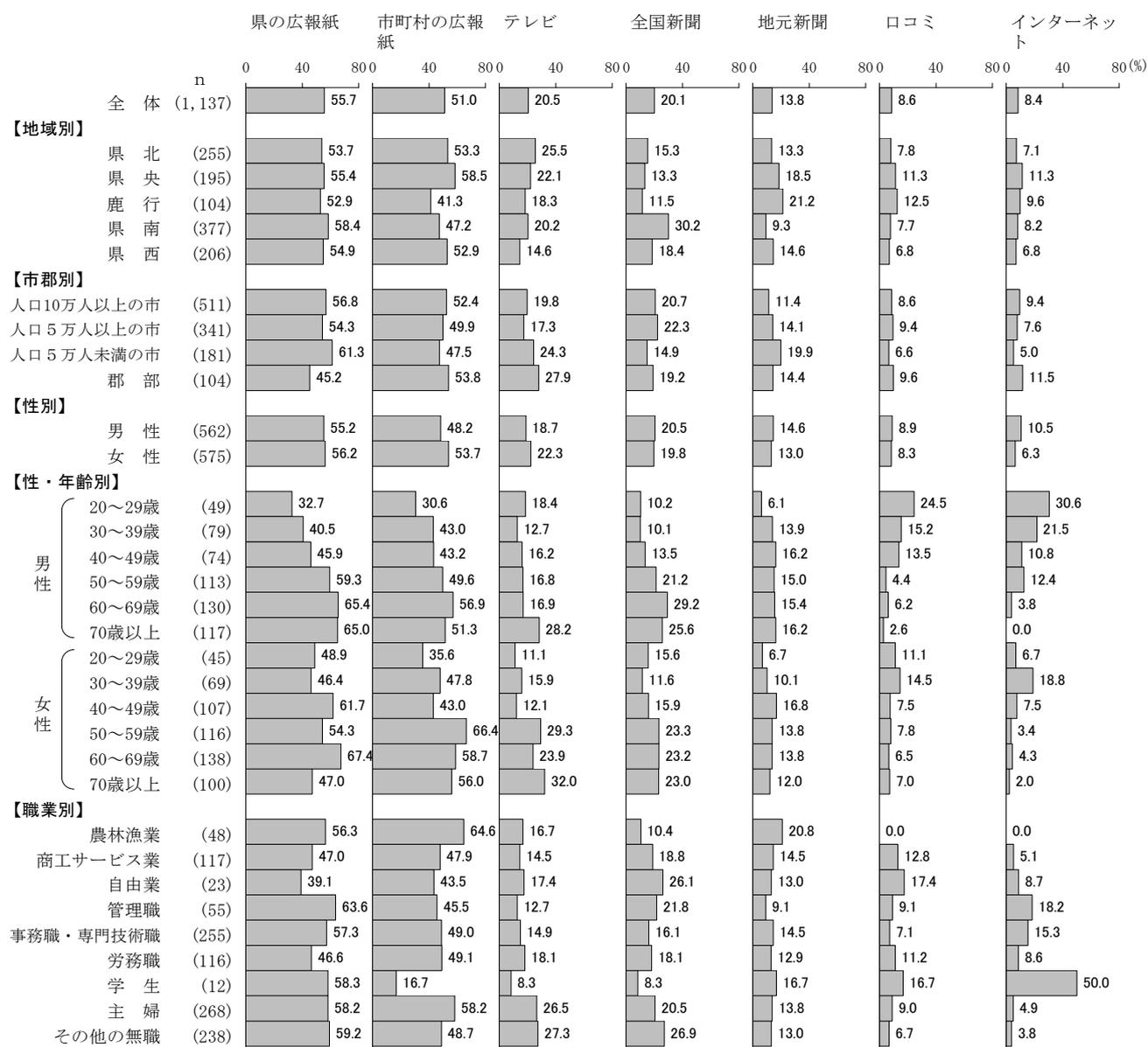
市郡別でみると、「県の広報紙」は、人口5万人未満の市（61.3%）で6割を超えて最も高くなっている。「市町村の広報紙」は、郡部（53.8%）で5割台半ばと最も高く、それ以外の層で5割前後となっている。また、「テレビ」は、郡部（27.9%）で約3割と最も高く、人口5万人未満の市（24.3%）で2割台半ばとなっている。

性別でみると、「市町村の広報紙」は女性（53.7%）が男性（48.2%）よりも約6ポイント高く、「テレビ」は女性（22.3%）が男性（18.7%）よりも約4ポイント高くなっている。一方、「インターネット」は、男性（10.5%）が女性（6.3%）よりも約4ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、「県の広報紙」は男性の60代（65.4%）と70歳以上（65.0%）、女性の60代（67.4%）で、「市町村の広報紙」は女性の50代（66.4%）で、それぞれ6割台後半と高くなっている。「テレビ」は男性の70歳以上（28.2%）、女性の50代（29.3%）と70歳以上（32.0%）で、「全国新聞」は男性の60代（29.2%）で3割前後となっている。また、「インターネット」は、男性の20代（30.6%）で約3割となっている。

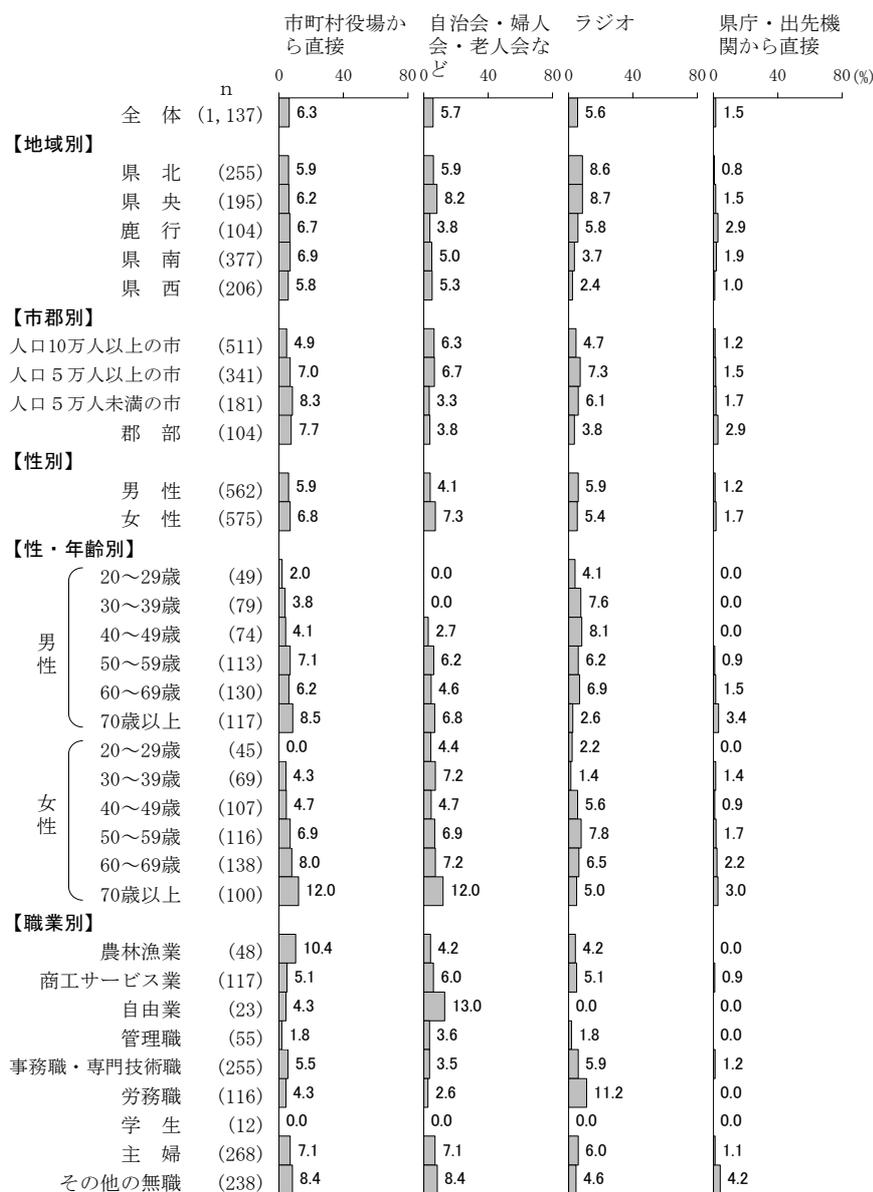
職業別でみると、「県の広報紙」は管理職（63.6%）で6割台半ばと最も高く、このほかでも商工サービス業（47.0%）と労務職（46.6%）以外のすべての職業で5割台後半となっている。「市町村の広報紙」は農林漁業（64.6%）で6割台半ばと最も高く、主婦（58.2%）で約6割となっている。

図 XV 33-2 県政情報の主な入手先  
(地域別, 市郡別, 性別, 性・年齢別, 職業別)



(注) 自由業及び学生は回答人数が少ないので分析ではふれていない。

〈続き〉図XV 33-2 県政情報の主な入手先  
(地域別, 市郡別, 性別, 性・年齢別, 職業別)

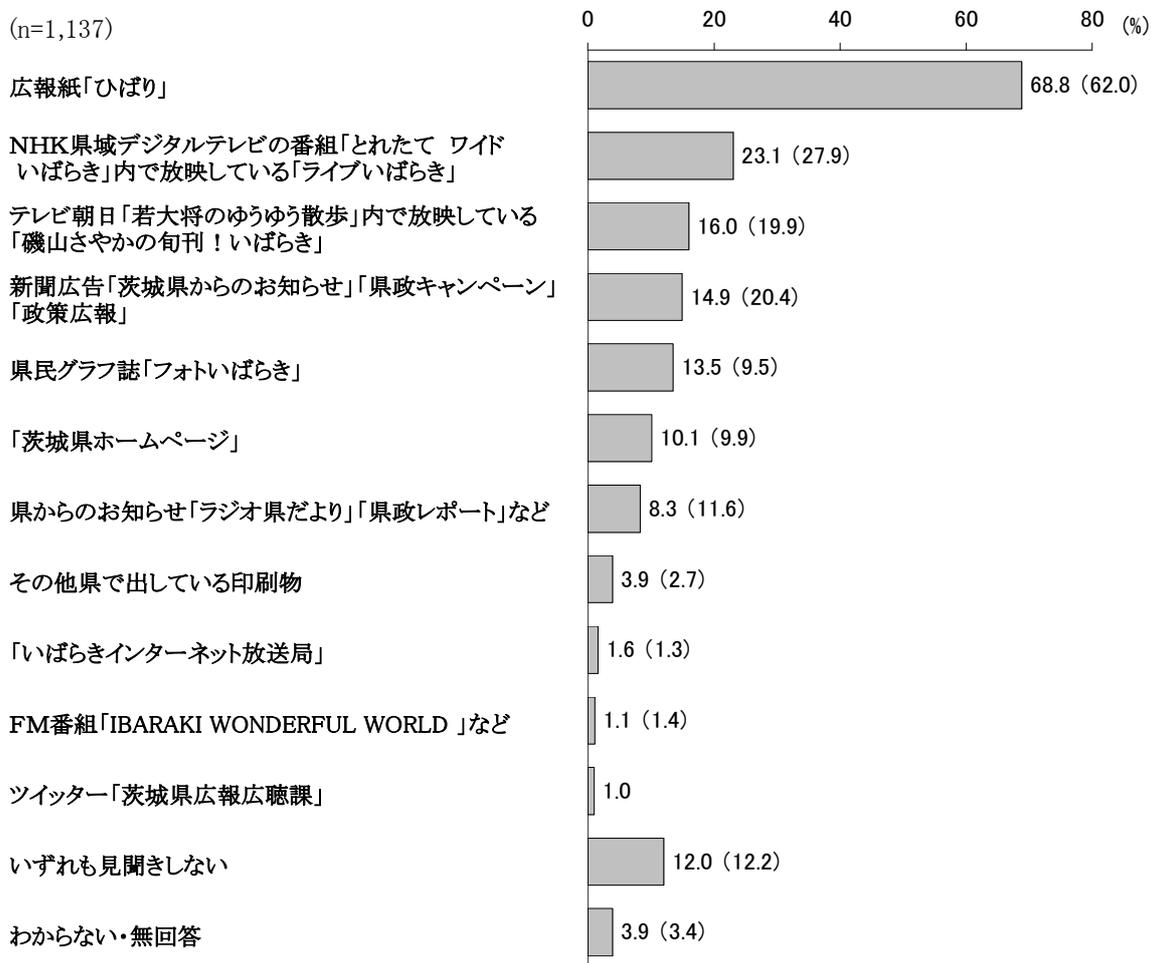


(注) 自由業及び学生は回答人数が少ないので分析ではふれていない。

### 3. 最近接触した広報媒体

—「広報紙『ひばり』」が約7割—

問34 県政情報について、この1年の間に一度でも見たり、聞いたり、読んだりしたものはどれですか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。



※( )内の数値は、平成23年の調査結果

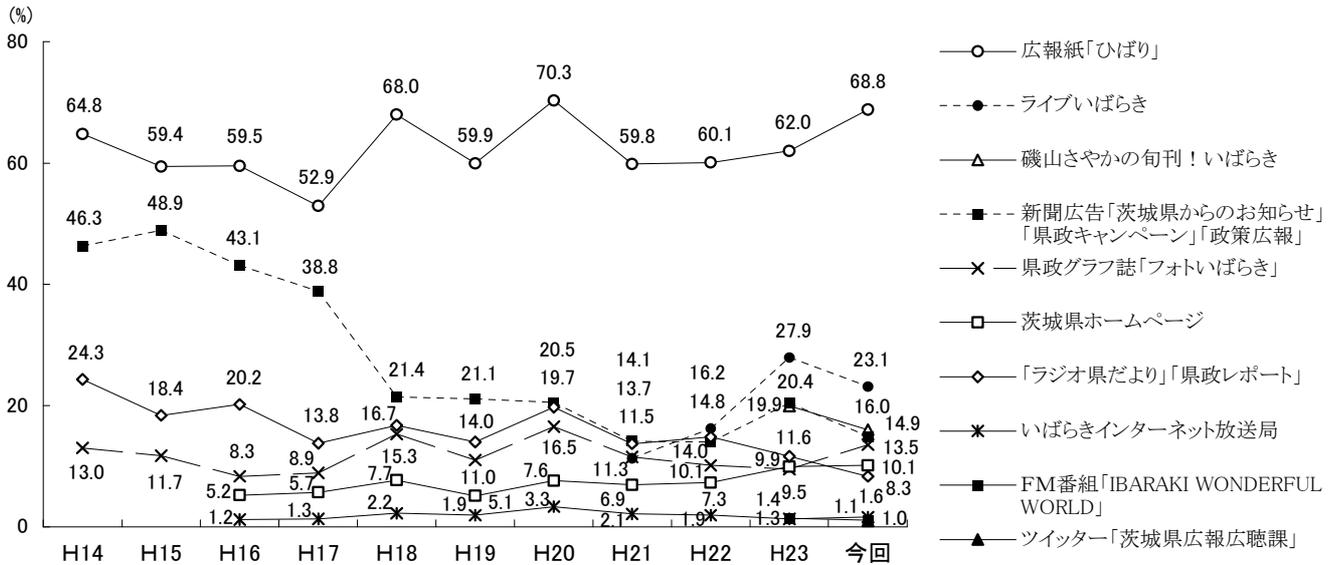
※「ツイッター『茨城県広報広聴課』」は今回より追加

※「テレビ朝日『若大将のゆうゆう散歩』内で放映している『磯山さやかの旬刊！いばらき』」は、平成23年は「テレビ朝日『ちい散歩』内で放映している『磯山さやかの旬刊！いばらき』」

最近接触した広報媒体としては、「広報紙『ひばり』」(68.8%)が約7割で最も高くなっている。次いで「NHK県域デジタルテレビの番組『とれたてワイドいばらき』内で放映している『ライブいばらき』」(23.1%)が2割台半ば、「テレビ朝日『若大将のゆうゆう散歩』内で放映している『磯山さやかの旬刊！いばらき』」(16.0%)、「新聞広告『茨城県からのお知らせ』『県政キャンペーン』『政策広報』」(14.9%)、「県民グラフ誌『フォトいばらき』」(13.5%)、「『茨城県ホームページ』」(10.1%)が1割台で続いている。

前回調査と比べると、「広報紙『ひばり』」が約7ポイント、「県民グラフ誌『フォトいばらき』」が4ポイント増加している。一方、「新聞広告『茨城県からのお知らせ』『県政キャンペーン』『政策広報』」が約6ポイント、「NHK県域デジタルテレビの番組『とれたて ワイド いばらき』」内で放映している『ライブいばらき』」が約5ポイント、「テレビ朝日『若大将のゆうゆう散歩』」内で放映している『磯山さやかの旬刊！いばらき』」が約4ポイント、「県からのお知らせ『ラジオ県だより』『県政レポート』」などが約3ポイント減少している。

図 XV 34-1 最近接触した広報媒体（時系列比較）



- ※ メールマガジン「メルマガいばらき」は平成15年より追加
- ※ 「茨城県ホームページ」及び「いばらきインターネット放送局」は平成16年より追加
- ※ 「ライブいばらき」は平成21年より追加、平成21年と平成22年は「まちむら中継」
- ※ 「新聞広告『茨城県からのお知らせ』『県政キャンペーン』『政策広報』」は、平成22年までは「新聞広報『茨城県からのお知らせ』『県政キャンペーン』」
- ※ 「磯山さやかの旬刊！いばらき」及び「FM番組『IBARAKI WONDERFUL WORLD』」は平成23年より追加
- ※ 「ラジオ県だより」「県政レポート」は、平成23年までは「ラジオ県だより」「県政スポット」
- ※ 「ツイッター『茨城県広報広聴課』」は今回より追加

### —「広報紙『ひばり』」は鹿行以外の地域で7割前後—

地域別でみると、「広報紙『ひばり』」は、鹿行（56.7%）以外のすべての地域で7割前後と高くなっている。「NHK県域デジタルテレビの番組『とれたて ワイド いばらき』」内で放映している『ライブいばらき』」は、県央（41.5%）で4割を超えて最も高く、県北（32.5%）で3割を超えているが、それ以外の地域では1割台となっている。

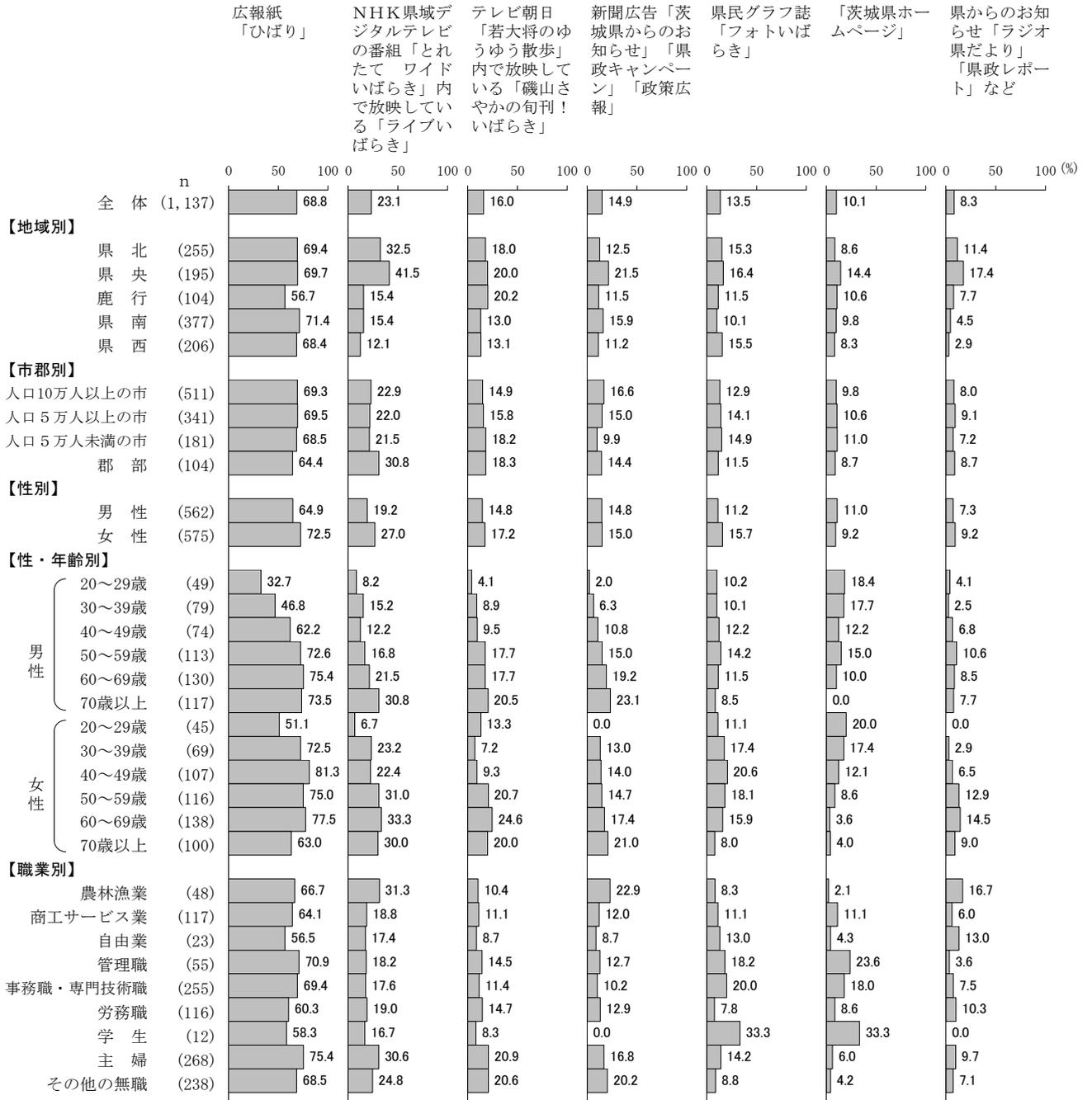
市郡別でみると、「広報紙『ひばり』」は、すべての層で6割台となっている。「NHK県域デジタルテレビの番組『とれたて ワイド いばらき』」内で放映している『ライブいばらき』」は、郡部（30.8%）で約3割と最も高くなっている。

性別でみると、「NHK県域デジタルテレビの番組『とれたて ワイド いばらき』」内で放映している『ライブいばらき』」は、女性（27.0%）が男性（19.2%）よりも約8ポイント高く、「広報紙『ひばり』」でも、女性（72.5%）が男性（64.9%）よりも約8ポイント高くなっている。また、「県民グラフ誌『フォトいばらき』」は、女性（15.7%）が男性（11.2%）よりも約5ポイント高くなっている。一方、「いずれも見聞きしない」は、男性（13.9%）が女性（10.3%）よりも約4ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、「広報紙『ひばり』」は、男性では50代（72.6%）、60代（75.4%）、70歳以上（73.5%）で7割台となっている。女性では40代（81.3%）で8割を超えて最も高く、30代（72.5%）、50代（75.0%）、60代（77.5%）で7割台となっている。「NHK県域デジタルテレビの番組『とれたて ワイド いばらき』」内で放映している『ライブいばらき』」は、男性の70歳以上（30.8%）、女性の50代（31.0%）、60代（33.3%）、70歳以上（30.0%）で3割台となっている。このほか、「新聞広告『茨城県からのお知らせ』『県政キャンペーン』『政策広報』」は、男女ともに年齢が上がるほど高くなっており、「『茨城県ホームページ』」は、女性で年齢が上がるほど低くなっている。

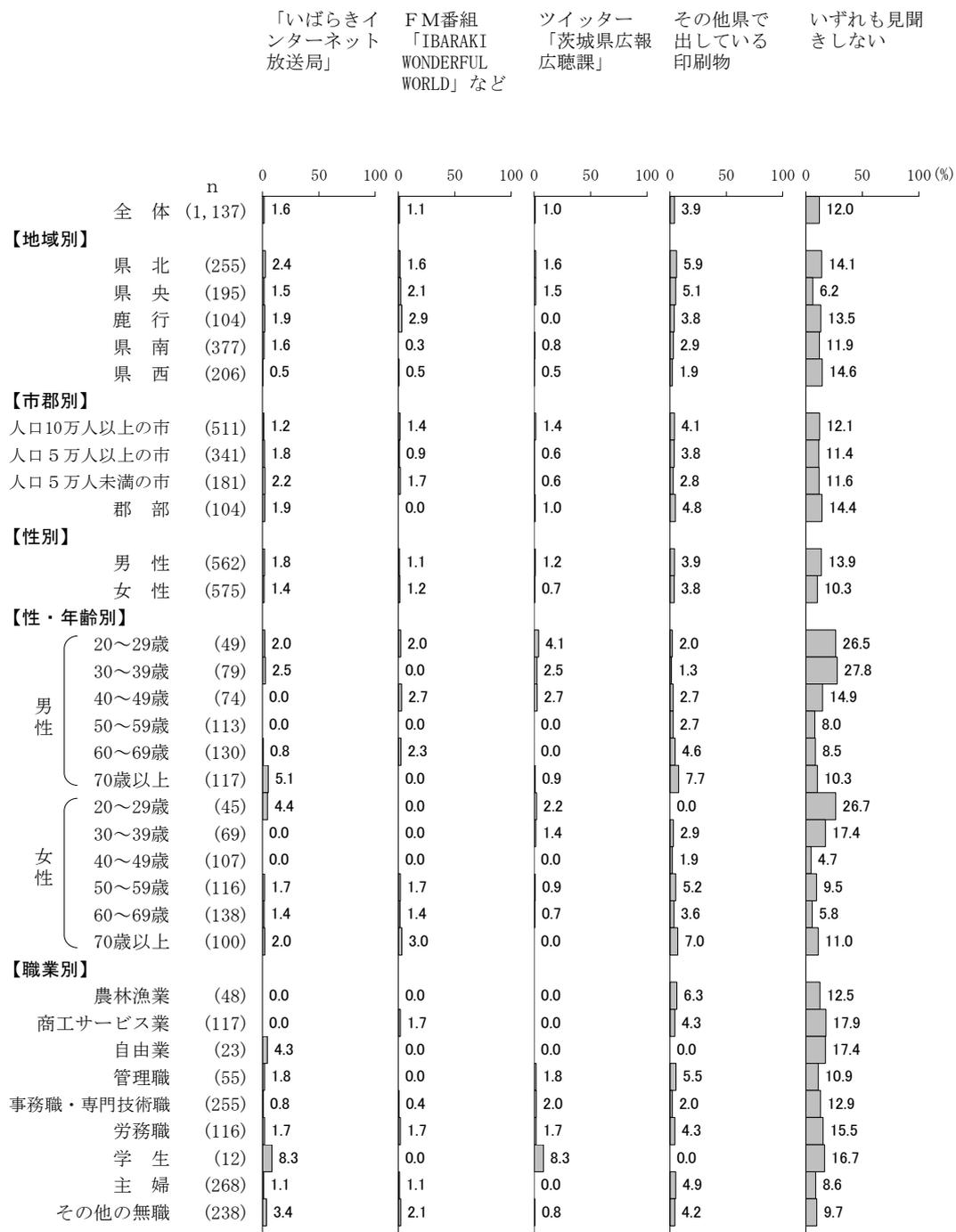
職業別でみると、「広報紙『ひばり』」は、主婦（75.4%）で7割台半ばと最も高く、管理職（70.9%）、事務職・専門技術職（69.4%）、その他の無職（68.5%）で約7割となっている。「NHK県域デジタルテレビの番組『とれたて ワイド いばらき』」内で放映している『ライブいばらき』」は、農林漁業（31.3%）と主婦（30.6%）で3割台となっている。

図 XV 34-2 最近接触した広報媒体（地域別，市郡別，性別，性・年齢別，職業別）



(注) 自由業及び学生は回答人数が少ないので分析ではふれていない。

〈続き〉図XV 34-2 最近接触した広報媒体（地域別，市郡別，性別，性・年齢別，職業別）

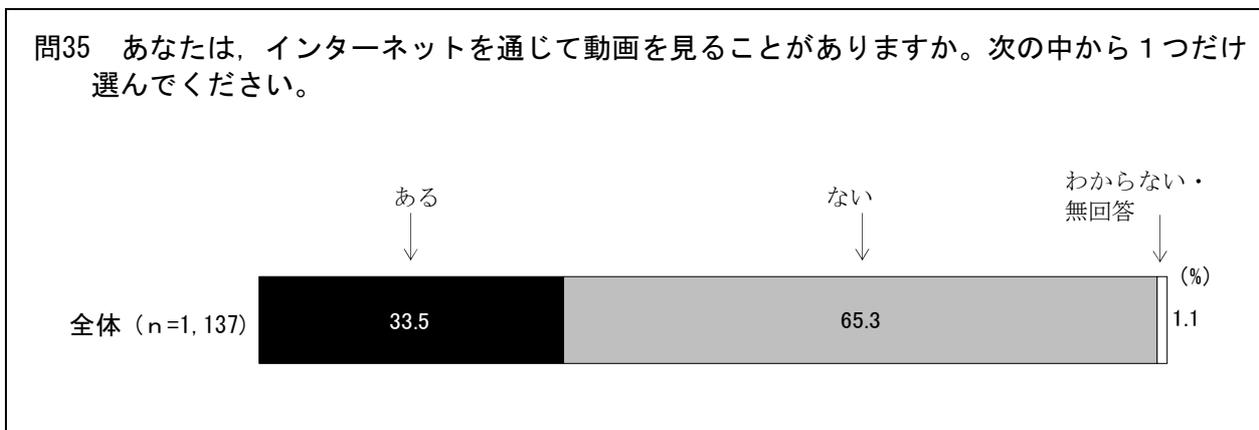


(注) 自由業及び学生は回答人数が少ないので分析ではふれていない。

#### 4. インターネット動画の視聴

##### (1) インターネット動画の視聴状況

—「ない」が6割台半ば—



インターネット動画の視聴状況としては、「ある」(33.5%)が3割台半ば、「ない」(65.3%)が6割台半ばとなっている。

—「ある」は男女ともに20代で8割前後—

地域別でみると、「ある」は、鹿行(37.5%)で約4割と最も高く、県北(29.8%)以外のすべての地域で3割台となっている。一方、「ない」は、県北(69.0%)で約7割と最も高くなっている。

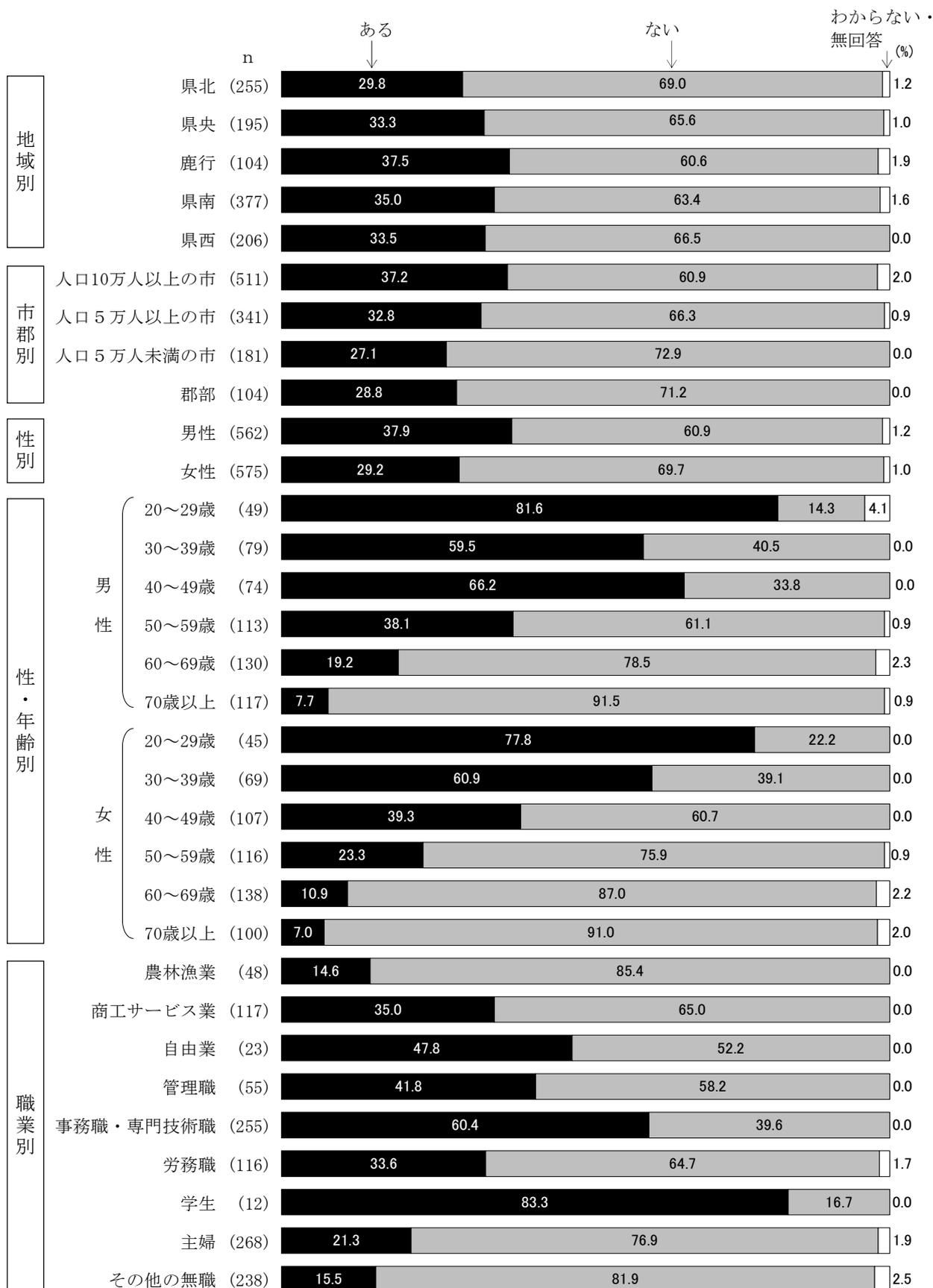
市郡別でみると、「ある」は、人口10万人以上の市(37.2%)で約4割と最も高く、人口5万人以上の市(32.8%)で3割を超えている。一方、「ない」は、人口5万人未満の市(72.9%)と郡部(71.2%)で7割を超えている。

性別でみると、「ある」は、男性(37.9%)が女性(29.2%)よりも約9ポイント高くなっている。一方、「ない」は、女性(69.7%)が男性(60.9%)よりも約9ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、「ある」は、男性の20代(81.6%)、女性の20代(77.8%)で8割前後と高く、男性の40代(66.2%)で6割台半ば、男性の30代(59.5%)と女性の30代(60.9%)で約6割となっている。一方、「ない」は、男性では70歳以上(91.5%)で9割を超えている。女性では年齢が上がるほど高くなり、60代(87.0%)で約9割、70歳以上(91.0%)で9割を超えている。

職業別でみると、「ある」は、事務職・専門技術職(60.4%)で約6割と最も高く、管理職(41.8%)で4割を超えている。一方、「ない」は、農林漁業(85.4%)で8割台半ばと最も高く、その他の無職(81.9%)で8割を超えている。

図 XV 35-1 インターネット動画の視聴状況（地域別，市郡別，性別，性・年齢別，職業別）



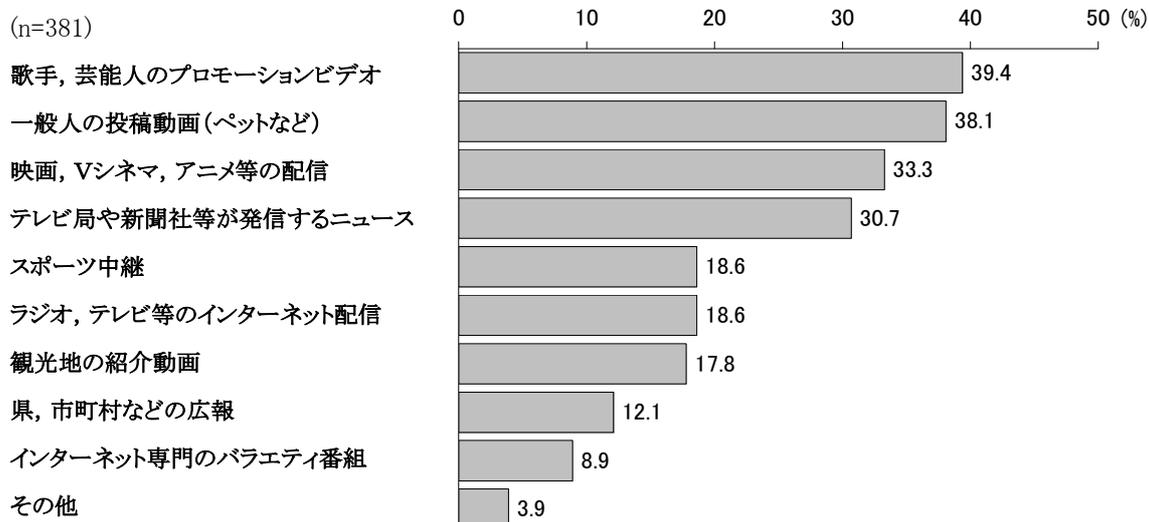
(注) 自由業及び学生は回答人数が少ないので分析ではふれていない。

(2) インターネット動画の視聴内容

—「歌手、芸能人のプロモーションビデオ」と「一般人の投稿動画（ペットなど）」が約4割—

(問35で、「1. ある」と回答した方のみ)

問35-1 あなたは、インターネットを通じて動画を見るとき、どんな動画を視聴していますか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。



インターネットを通じて動画を見ることが「ある」と回答した方に、その視聴内容を聞いたところ、「歌手、芸能人のプロモーションビデオ」(39.4%)と「一般人の投稿動画（ペットなど）」(38.1%)が約4割で高く、次いで「映画、Vシネマ、アニメ等の配信」(33.3%)、「テレビ局や新聞社等が発信するニュース」(30.7%)が3割台で続いている。

### —「歌手、芸能人のプロモーションビデオ」は女性の20代で約7割—

地域別でみると、「歌手、芸能人のプロモーションビデオ」は県西（43.5%）で、「一般人の投稿動画（ペットなど）」は県央（46.2%）で、それぞれ4割台半ばと最も高くなっている。「映画、Vシネマ、アニメ等の配信」は、県西（40.6%）で約4割と最も高くなっている。また、「テレビ局や新聞社等が発信するニュース」は、県央（40.0%）で4割と最も高く、県西（37.7%）で約4割となっている。

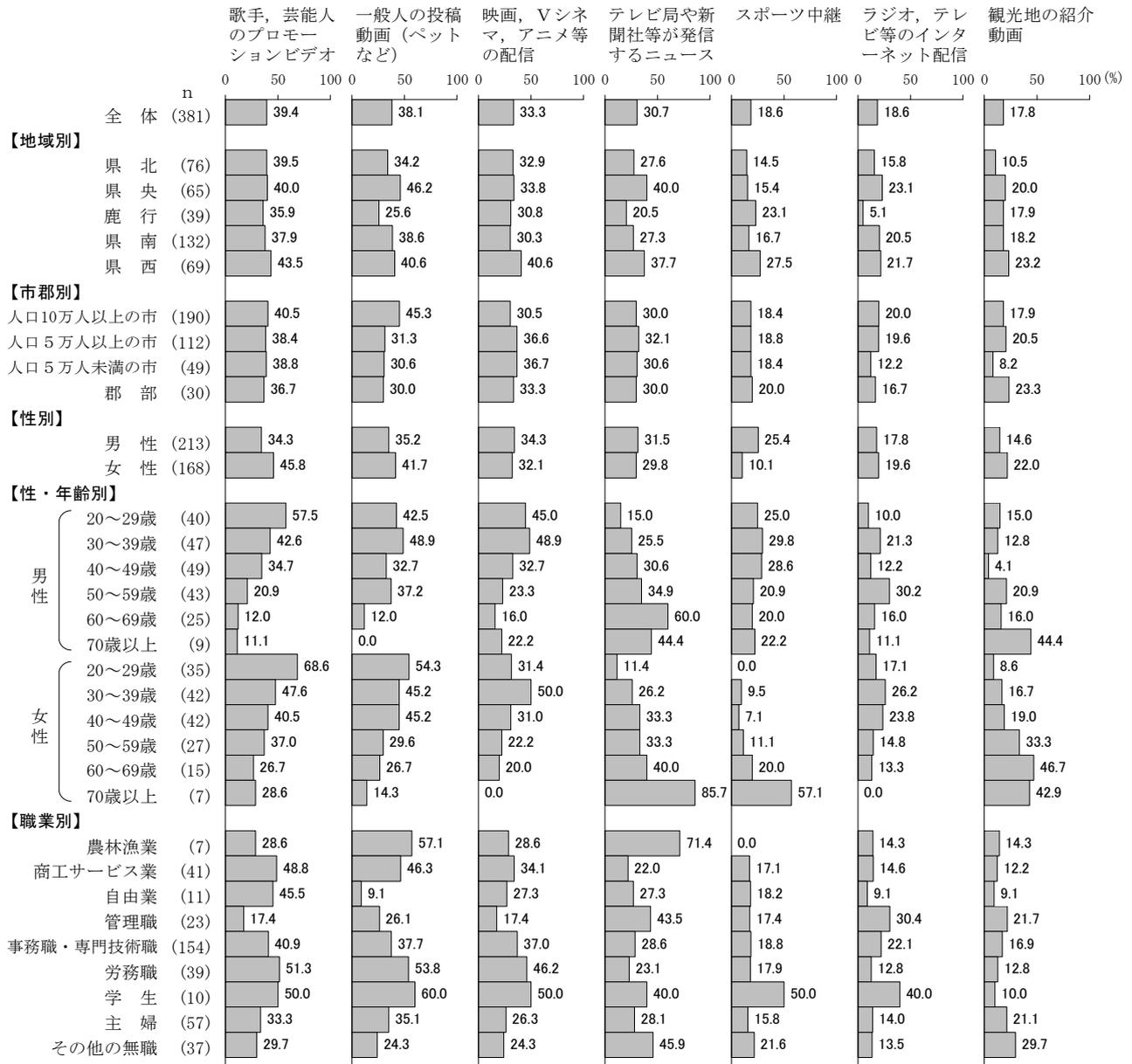
市郡別でみると、「歌手、芸能人のプロモーションビデオ」は、すべての層で4割前後となっており、「一般人の投稿動画（ペットなど）」は、人口10万人以上の市（45.3%）で4割台半ばと最も高くなっている。また、「映画、Vシネマ、アニメ等の配信」と「テレビ局や新聞社等が発信するニュース」は、すべての層で3割台となっている。

性別でみると、「スポーツ中継」は、男性（25.4%）が女性（10.1%）よりも約15ポイント高くなっている。一方、「歌手、芸能人のプロモーションビデオ」は、女性（45.8%）が男性（34.3%）よりも約12ポイント高くなっている。また、「観光地の紹介動画」は、女性（22.0%）が男性（14.6%）よりも約7ポイント高く、「一般人の投稿動画（ペットなど）」でも、女性（41.7%）が男性（35.2%）よりも約7ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、「歌手、芸能人のプロモーションビデオ」は、男性の20代（57.5%）で約6割、女性の20代（68.6%）で約7割と高くなっている。「一般人の投稿動画（ペットなど）」は女性の20代（54.3%）で5割台半ば、「映画、Vシネマ、アニメ等の配信」は女性の30代（50.0%）で5割と、それぞれ最も高くなっている。

職業別でみると、「歌手、芸能人のプロモーションビデオ」は、商工サービス業（48.8%）と労務職（51.3%）で5割前後と高くなっている。「一般人の投稿動画（ペットなど）」でも、労務職（53.8%）は5割台半ばと最も高く、商工サービス業（46.3%）で4割台半ばとなっている。また、「映画、Vシネマ、アニメ等の配信」は、労務職（46.2%）は4割台半ばと最も高くなっている。

図XV 35-1-1 インターネット動画の視聴内容  
(地域別, 市郡別, 性別, 性・年齢別, 職業別—上位7項目)

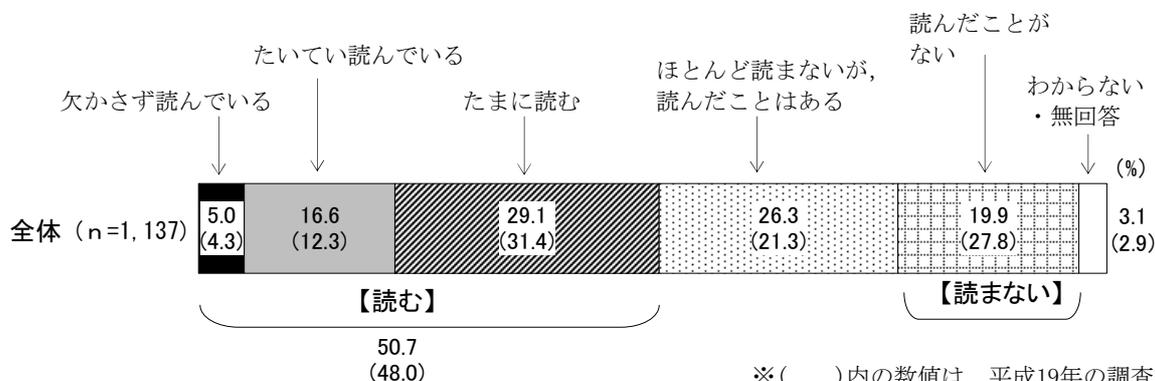


(注) 女性50~59歳, 男性及び女性の60~69歳, 70歳以上, 農林漁業, 自由業, 管理職, 学生は回答人数が少ないので分析ではふれていない。

## 5. 「いばらき県議会だより」の閲読状況

### —【読む】は約5割—

問36 県議会が開かれたあと、広報紙「いばらき県議会だより」を発行（年4回）し、新聞折り込みにより各家庭に配布していますが、あなたはどの程度ご覧になっていますか。次の中から1つだけ選んでください。



広報紙「いばらき県議会だより」を、「欠かさず読んでいる」(5.0%)と「たいてい読んでいる」(16.6%)、「たまに読む」(29.1%)を合わせた【読む】(50.7%)は約5割となっている。また、「ほとんど読まないが、読んだことはある」(26.3%)は2割台半ばとなっている。一方、「読んだことがない」(19.9%)の【読まない】は約2割となっている。

前回調査と比べると、「ほとんど読まないが、読んだことはある」が5ポイント、【読む】が約3ポイント増加している。一方、【読まない】が約8ポイント減少している。

### —【読む】は男性の70歳以上で約7割—

地域別でみると、【読む】は、県央(56.0%)で5割台半ばと最も高くなっている。一方、【読まない】は、県南(23.3%)で2割台半ばと最も高くなっている。

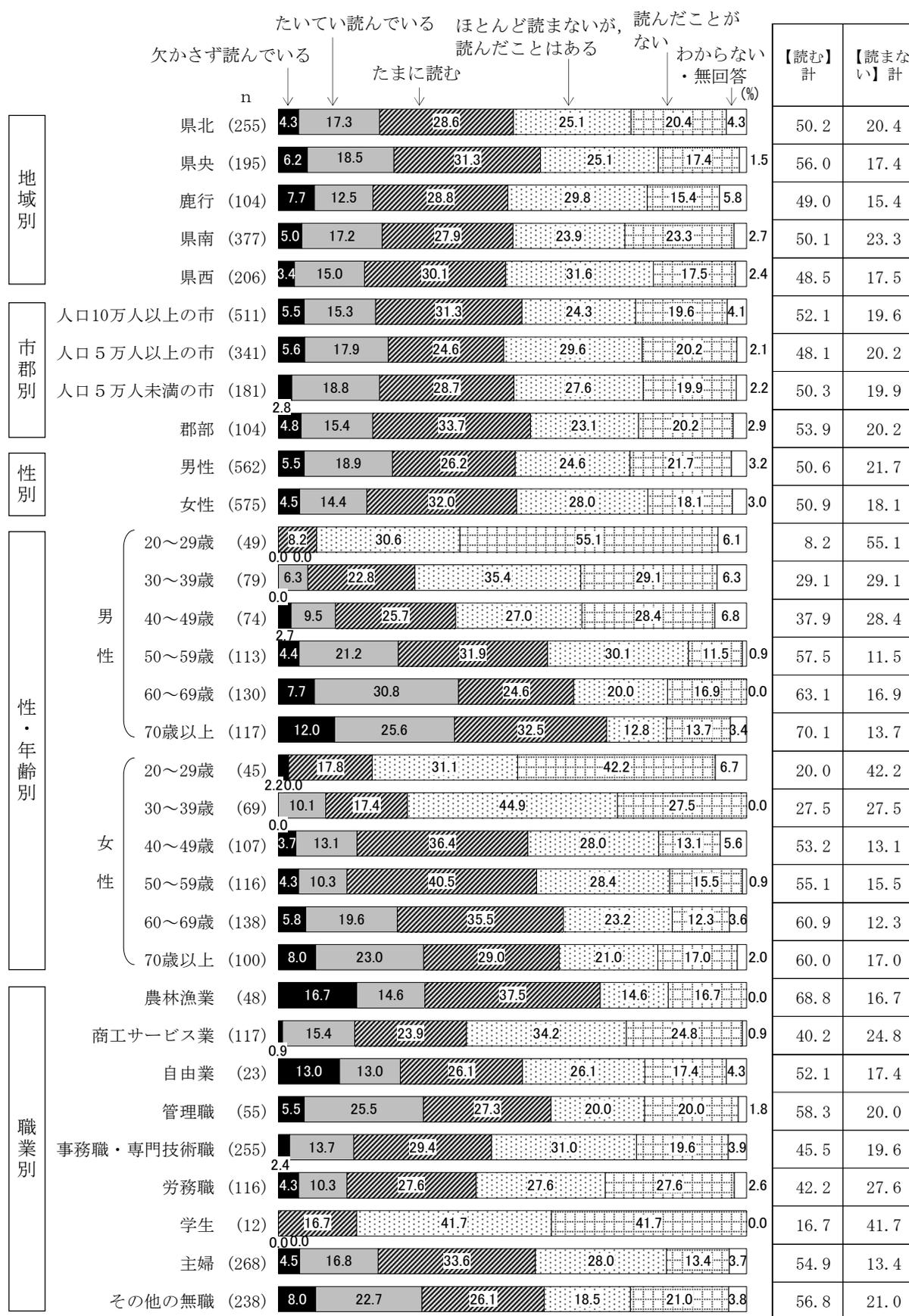
市郡別でみると、【読む】は、人口5万人以上の市(48.1%)以外のすべての層で5割台となっている。一方、【読まない】は、すべての層で約2割となっている。

性別でみると、【読む】は、男性(50.6%)、女性(50.9%)で両方とも約5割となっている。一方、【読まない】は、男性(21.7%)が女性(18.1%)よりも約3ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、【読む】は、男性では年齢が上がるほど高くなり、70歳以上(70.1%)で約7割となっている。女性では60代(60.9%)と70歳以上(60.0%)で6割台と高くなっている。一方、【読まない】は、男性の20代(55.1%)で5割台半ば、女性の20代(42.2%)で4割を超えて高くなっている。

職業別でみると、【読む】は、農林漁業(68.8%)で約7割と最も高く、管理職(58.3%)、主婦(54.9%)、その他の無職(56.8%)で5割台となっている。一方、【読まない】は、労務職(27.6%)で約3割と最も高くなっている。

図 XV 36-1 「いばらき県議会だより」の閲読状況  
(地域別, 市郡別, 性別, 性・年齢別, 職業別)

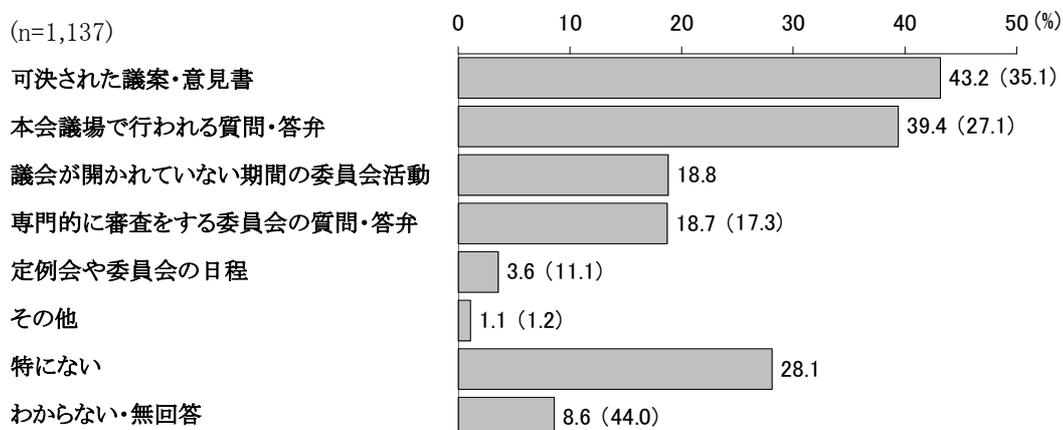


(注) 自由業及び学生は回答人数が少ないので分析ではふれていない。

## 6. 県議会活動で知りたい内容

— 「可決された議案・意見書」が約4割台半ば—

問37 あなたは、県議会活動のどのような内容を知りたいですか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。



※( )内の数値は、平成19年の調査結果

※「議会が開かれていない期間の委員会活動」と「特になし」は今回調査より追加

※「可決された議案・意見書」は、平成19年は「可決した議案」, 「本会議場で行われる質問・答弁」は、平成19年は「議員全員で話し合う本会議の質問・答弁」, 「定例会や委員会の日程」は、平成19年は「定例会や委員会の日程・活動内容」

県議会活動で知りたい内容としては、「可決された議案・意見書」(43.2%)が4割台半ばで最も高く、「本会議場で行われる質問・答弁」(39.4%)が約4割となっている。次いで「議会が開かれていない期間の委員会活動」(18.8%)、「専門的に審査をする委員会の質問・答弁」(18.7%)が約2割で続いている。一方、「特になし」(28.1%)が約3割となっている。

前回調査の結果は、選択肢の内容と選択肢数が異なることから、参考とする。

### —「可決された議案・意見書」は男性の60代と女性の30代で約5割—

地域別でみると、「可決された議案・意見書」は、県央（47.7%）と県西（49.0%）で約5割と高くなっている。「本会議場で行われる質問・答弁」は、県央（42.6%）、鹿行（41.3%）、県西（40.8%）で4割台となっている。

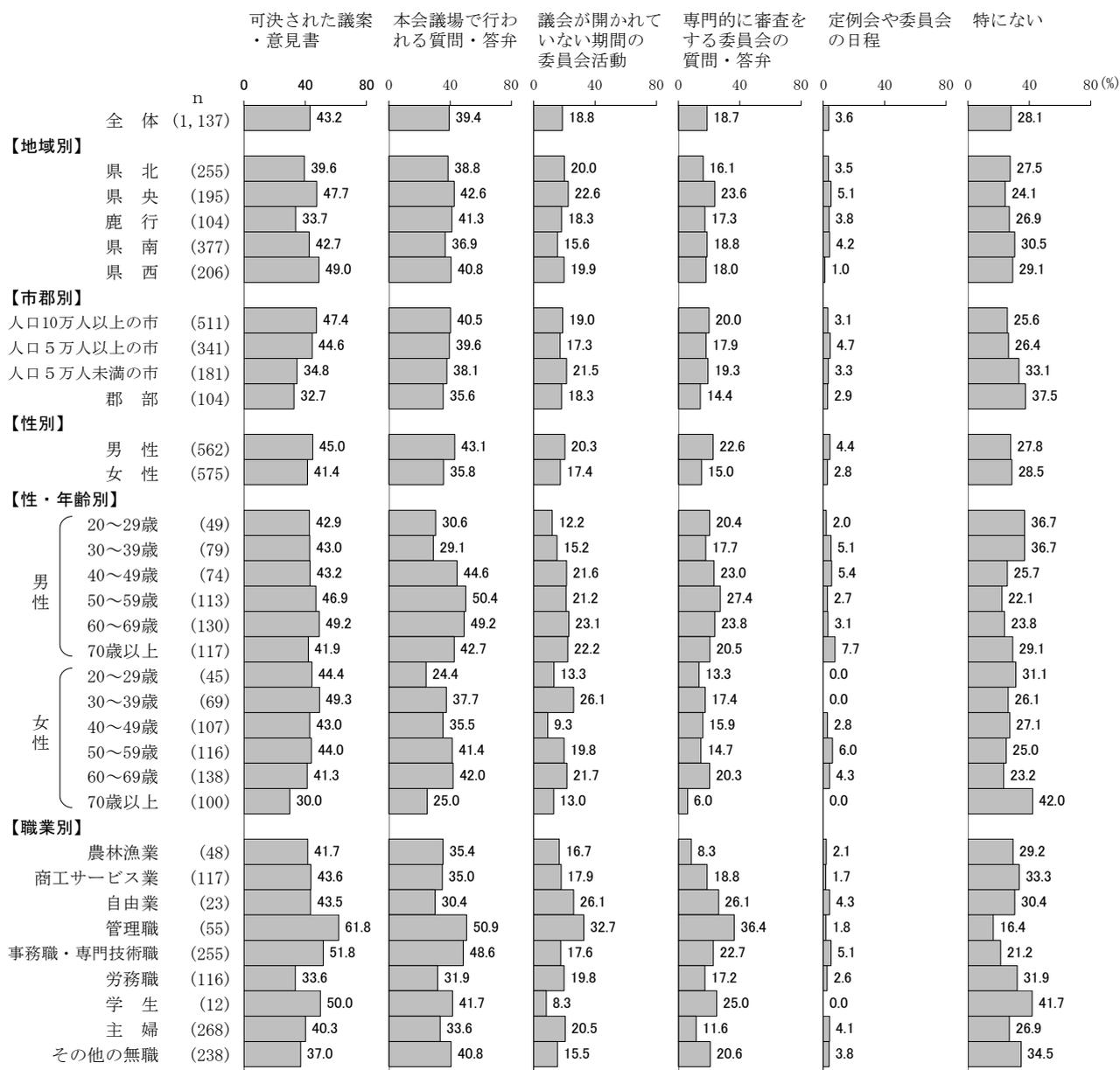
市郡別でみると、「可決された議案・意見書」は、人口10万人以上の市（47.4%）で約5割と最も高く、人口が少なくなるほど低くなっている。また、「本会議場で行われる質問・答弁」でも、人口が少なくなるほど低くなっている。一方、「特にない」は、人口が少なくなるほど高くなり、郡部（37.5%）で約4割となっている。

性別でみると、「専門的に審査をする委員会の質問・答弁」は、男性（22.6%）が女性（15.0%）よりも約8ポイント高く、「本会議場で行われる質問・答弁」は、男性（43.1%）が女性（35.8%）よりも約7ポイント高くなっている。また、「可決された議案・意見書」は、男性（45.0%）が女性（41.4%）よりも約4ポイント高く、「議会が開かれていない期間の委員会活動」は、男性（20.3%）が女性（17.4%）よりも約3ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、「可決された議案・意見書」は、男性の60代（49.2%）と女性の30代（49.3%）で約5割と高く、女性の70歳以上（30.0%）以外のすべての年齢で4割台となっている。「本会議場で行われる質問・答弁」は、男性の50代（50.4%）と60代（49.2%）で約5割と高くなっている。一方、「特にない」は、男性の20代（36.7%）と30代（36.7%）で3割台半ば、女性の70歳以上（42.0%）で4割を超えて高くなっている。

職業別でみると、「可決された議案・意見書」は、管理職（61.8%）で6割を超えて最も高く、事務職・専門技術職（51.8%）で5割を超えている。「本会議場で行われる質問・答弁」でも、管理職（50.9%）と事務職・専門技術職（48.6%）は約5割と高くなっている。このほか、「議会が開かれていない期間の委員会活動」と「専門的に審査をする委員会の質問・答弁」でも、管理職は最も高くなっている。

図 XV 37-1 県議会活動で知りたい内容  
(地域別, 市郡別, 性別, 性・年齢別, 職業別)



(注) 自由業及び学生は回答人数が少ないので分析ではふれていない。